



ぼくらのこじれたレイゾンデイト
Marchenmarch

最初の記憶は、夜、月明かり、
そして——血の海。

少年はその夜、血に濡れていた。
人を殺めてしまったから。

そうしなければ、自分が死んでいた。
そうしなければ、生きられなかった。

しかし、その場しのぎの衝動的な行動によって、
少年はなお追い詰められていた。
どちらにせよ、これが見つかれば自分はただでは済まないのだ。
「——おや？ ……これはこれは。先を越されてしまったかなあ」

それは朗々とした声だった。
そして、あまりにも美しい"生き物"だった。
月明かりを浴びた《彼》は、少年に手を差し伸べこう言った。

「ボクはキミに会うためにここまで来たのかもしれないね」

——これは、一人の少年による回想録である。



CV：しぐれなお
みや。

奴隷として連れてこられた少年。
はずみで仕えていた屋敷の主人を刺殺してしまい、
動転していたところへ居合わせたヨハンと出会う。
奴隷という身でありながらそれなりの教養を
持ち合わせており、真面目な性格。



CV：彩透瑠津

セクスの犯行現場に居合わせた、
類まれな美貌の少年。
表情豊かで程やかな雰囲気だが、
言い回しが独特であったり古い表現を好み、
掴みどころがない性格。



CV：有澤空

嵐の夜、ヨハンの屋敷に文字通り
転がり込んできた黒猫のような少女。
まともな教育を受けていないのか
年齢の割に言動が幼い。

街の商人 / CV：馬場輝

Cast
Staff

制作：marchenmarch
イラスト：あきの
楽曲：Yuy
作詞：結崎有理
歌唱：らーら
動画：みや。

Lunar Eclipse

ふたりのイリュージョン

Lyrics : 結崎有理 Music : Yuy Vocal : らーら

銀の刃が切り抜いた漆黒から
差し込む月明かりにこの身を委ねてた

生きていく理由と居場所をくれたから
歪でも構わずに歩いていけると思えた
はじまりの予感が

満ちた月が昇る夜空に 永遠を誓う
君がいれば何を捨てても それだけでいい
君とボクが模る世界 真円をなぞる
欠け落ちれば砂に解けて
零れていくだけ

不器用なボくらには難しくても
積み上げた箱庭は"幸せ"と呼ばた

孤独に震えて凍えた手を重ね
温もりが生まれていく
明日も明後日も変わらず

半分の月が昇る夜空に 永遠を願う
君が笑いボクも笑った 愛しい日々を
君とボクが模る世界 真円をなぞる
生きることの本当の意味を
失くさぬように

その明かり途絶えても 迷いなくまた歩く
唯一つ遺された 願いを抱いていければ

深い闇がすべてを包み 月を喰む夜に
ボクは独り思い返した 愛しい日々を
君とボクが模る世界 真円をなぞる
時は止まり繋がっていく
当たり前のように

ああ、月の無いこんな夜は



Track List

1. ひとりの僕が死んだ日、新しい世界が生まれた
2. 君と歩く普通の世界
3. 明月のテーブル
4. 僕と嵐と世界のはじまり
5. みんなが太陽で、みんなが月だった
6. 永眠る月を喰む
7. Lunar Eclipse - ふたりのイクリプス -

2010.10.25

CD



このディスクはデータ形式です。一般的なオーディオプレイヤーでは認識されない場合がございますのでご注意ください。
本作品の無断転載・複製（コピー）はご遠慮ください。また、権利者の許諾なくインターネット上の配信サイト等へ配布、
またネットラジオ局等へ配布することを禁止します。